

TORIDE

止匕 石

五城目消防広報誌

Vol.16

01

消防職員被服紹介

活動服、救助服、救急服、防火衣、冬制服、夏制服

02

消防団員被服紹介

防火衣、活動服

— 消防職員被服紹介 —

活動服

災害現場・日常業務を問わずあらゆる場面で着用される服で、2024年にデザインが一新されました。

火災現場に出動する際は、この活動服の上から防火衣を着用します。



救助服

交通事故などの救助現場で着用します。

色はオレンジ色で、夜間や山間部など、視界が悪い中での活動においても視認しやすい点が最大の特徴です。

生地は耐切創性に優れており、ガラスや瓦礫等が散乱した危険な現場においても安全に活動することができます。



救急服

色はグレーで、傷病者や家族の方に清潔なイメージをもっていただけるようにこの色が採用されています。

また、血液感染などから身を守るため、この服に加えてゴーグルや手袋、感染防止衣を装着して活動します。



防火衣

火災現場などの危険で過酷な現場から消防職員の身を守るため、耐熱性に優れた素材で作られています。

火災現場などでは、この防火衣とともに防火帽・防火長靴・防火防水手袋を装着して身体を保護します。



冬制服

消防の行事や式典などで着用するほか、お店や工場、高齢者施設などへ立入検査に行く際に着用します。

制帽と呼ばれる帽子はズボンと同色になるように作られています。



夏制服

薄い水色のシャツが特徴的な仕様の制服です。

6月から9月の期間に着用し、シャツは半袖タイプと長袖タイプの2種類があります。

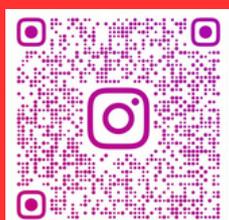
冬制服同様、ズボンと同色の帽子を着用します。



消防職員は様々な被服を、着用シーンごとに使い分け、日々業務を行っています。

そんな消防署の日常の様子は、下記のQRコードからInstagramをご覧ください。

公式
Instagram →



— 消防団員被服紹介 —

防火衣

特殊な素材で作られ耐熱性に優れた上衣と、安全性に配慮したロング長靴で構成されています。

五城目町消防団では暗所でも視認性を高めるため、蛍光素材や反射材を多く使用した人目につくコート型の防火衣（上衣）を採用しています。



活動服

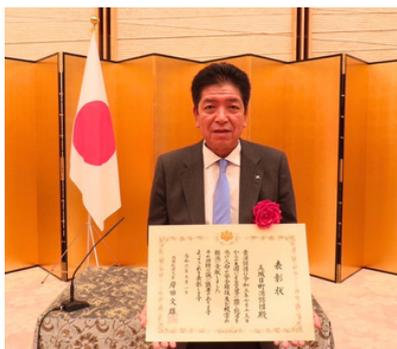
消防職員の活動服と同様に、あらゆる場面で着用します。

帽子や階級章、ベルトには桜のエンブレムがあらわれており、国の象徴である桜の花をシンボルにすることで、郷土愛の精神や潔さを表現しています。

このほか、消防団員被服には夏制服、冬制服があります。



— 令和6年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞 —



五城目町消防団が令和5年7月の大雨に際して出動し、河川等の警戒巡視、積み土のう工の実施、住民の避難誘導等の水防活動を行い、人命の安全確保と被害の軽減に貢献したことが認められ、令和6年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。

表彰式は令和6年9月13日（金）に東京都千代田区の総理大臣官邸で行われ、千葉與右工門団長が出席しました。

～編集後記～

今年の夏は猛暑とともに「令和の米騒動」と騒がれ世間をざわつかせました。県内でも関東や関西などの家族や知人へ送るためスーパーマーケットなど店舗の米の在庫が一時的に無くなったと聞いています。新米が出回るようになり在庫は安定しているように思いますが、価格は高止まりのようです。

さて、稲刈りも終わり米農家さんは落ち着いてきたところです。この頃になると籾殻を焼いて燻炭づくりをする方がいると思います。過去には籾殻焼きから周りの枯れ草などに火が移り、原野火災や林野火災に発展しました。11月3日から9日までは秋の火災予防運動期間となります。火の取り扱いには十分注意しましょう。（松橋正浩）

